

令和5年11月27日

教育委員会事務局 文化財課

担当：長谷川、安

内線：5626、5625

直 通 225-1844

### 国の文化財の登録について

令和5年11月24日（金）に開催された国の「文化審議会」（会長 <sup>さとう</sup>佐藤 <sup>まこと</sup>信）において、文部科学大臣から諮問のあった別紙の文化財の登録が審議され、答申された。今回の答申どおり下記の建造物が登録されれば県内の国登録有形文化財（建造物）は299件となる。

## (別紙)

件数	名称	所在地	構造、形式	建築面積	所有者	建築年代
1	かなざわだいがくいがくるいきゅうしよこ 金沢大学医学類旧書庫 きゅうせいかなざわい かだいがくふぞくとしよかんしよこ (旧制金沢医科大学附属図書館書庫)	金沢市宝町 13-1	鉄筋コンクリート造 三階建	142 m <sup>2</sup>	国立大学法人金沢大学	大正 15 年(1926)/ 昭和 60 年(1985)改修
2	かなざわだいがくいがくるいかいぼうひょうほんこ 金沢大学医学類解剖標本庫 きゅうせいかなざわい かだいがくかいはうがくひょうほんこ (旧制金沢医科大学解剖学標本庫)		鉄筋コンクリート造 平屋	194 m <sup>2</sup>		昭和 9 年(1934)/ 昭和 61 年(1986)改修
3	かなざわだいがくいがくるいびょうりひょうほんこ 金沢大学医学類病理標本庫 きゅうせいかなざわい かだいがくびょうりがくひょうほんこ (旧制金沢医科大学病理学標本庫)		鉄筋コンクリート造 二階建	99 m <sup>2</sup>		大正 15 年(1926)/ 昭和 60 年(1985)改修
4	かなざわだいがくいがくるい きゅうせいかなざわいがくせんもんがっこう 金沢大学医学類(旧制金沢医学専門学校) にしめんみなみきゅうせいもん れんがべい 西面南旧正門及び煉瓦塀		旧正門控柱：石造 塀：煉瓦造	総延長202m		明治 45 年(1912)
5	かなざわだいがくいがくるい きゅうせいかなざわいがくせんもんがっこう 金沢大学医学類(旧制金沢医学専門学校) にしめんきたれんがべい 西面北煉瓦塀		煉瓦造	延長 18m		明治 45 年(1912)
6	きゅういしかわけじゅうたくおもや 旧石川家住宅主屋	金沢市小立野 2-459 他	木造二階建、瓦葺	134 m <sup>2</sup>	個人	昭和 4 年(1929)
7	きゅういしかわけじゅうたくもん どるい 旧石川家住宅門及び土塁		門：コンクリート造 南脇門付 土塁土留：コンクリート造	総延長24m		昭和 4 年(1929)頃
8	きゅうだいしこうとうちゅうがっこうもんえいじよ 旧第四高等中学校門衛所	金沢市広坂 2-65-2	木造平屋建、瓦葺	23 m <sup>2</sup>	国(財務省)	明治 26 年(1893)/ 大正 8 年(1919)改修、 昭和 42 年(1967)移築、 令和 5 年(2023)改修
9	みうらけじゅうたくおもや 三浦家住宅主屋	金沢市東山 3-660	木造二階建、瓦葺	219 m <sup>2</sup>	個人	昭和 20 年(1945)/ 昭和 32 年(1957)増築
10	みうらけじゅうたくどぞう 三浦家住宅土蔵		土蔵造二階建、瓦葺	52 m <sup>2</sup>		大正 5 年(1916)頃/ 昭和 20 年(1945)増築

- 金沢大学医学類旧書庫（旧制金沢医科大学附属図書館書庫）  
（かなざわだいがくいがくるいきゅうしょこ きゅうせいかなざわいかだいがくふぞくとしょかんしょこ）
- 金沢大学医学類解剖標本庫（旧制金沢医科大学解剖学標本庫）  
（かなざわだいがくいがくるいかいぼうひょうほんこ きゅうせいかなざわいかだいがくかいはうがくひょうほんこ）
- 金沢大学医学類病理標本庫（旧制金沢医科大学病理学標本庫）  
（かなざわだいがくいがくるいびょうりひょうほんこ きゅうせいかなざわいかだいがくびょうりがくひょうほんこ）
- 金沢大学医学類（旧制金沢医学専門学校）／西面南旧正門及び煉瓦塀・西面北煉瓦塀  
（かなざわだいがくいがくるい きゅうせいかなざわいがくせんもんがっこう  
／にしめんみなみきゅうせいもんおよびれんがべい・にしめんきたれんがべい）

## 概 要

金沢市の金沢大学宝町キャンパス内に位置する。旧書庫は、大正15年（1926）に建設された建物で、当初の書籍運搬用昇降機が現存する。解剖標本庫は、昭和9年（1934）に建設された建物であり、スクラッチタイル貼りの重厚な外観である。病理標本庫は、大正15年（1926）に建設された建物で、窓枠に煉瓦を貼る。旧正門及び煉瓦塀は、明治45年（1912）建設であり、金沢大学宝町キャンパスに残る近代建築の中で別格の古さを誇る。以上は、金沢大学医薬保健学域医学類の前身である旧制金沢医科大学及び旧制金沢医学専門校の建築遺構群として貴重である。



位置図



金沢大学医学類旧書庫（旧制金沢医科大学附属図書館書庫）



金沢大学医学類解剖標本庫（旧制金沢医科大学解剖学標本庫）





金沢大学医学類病理標本庫（旧制金沢医科大学病理学標本庫）



金沢大学医学類（旧制金沢医学専門学校）西面南旧正門及び煉瓦塀  
金沢大学医学類（旧制金沢医学専門学校）西面北煉瓦塀  
※写真は西面北煉瓦塀である



## 旧石川家住宅／主屋・門及び土塁

(きゅういしかわけじゅうたく／おもや・もんおよびどるい)

### 概要

金沢市小立野台地東辺部に位置し、昭和4年（1929）に建築された退役陸軍大佐の住宅である。主屋は外観正面と応接室は洋風とし、その他の室内を和室としており、門及び土塁とともに昭和初期に整備された住宅地の景観を今に伝え、貴重である。



位置図



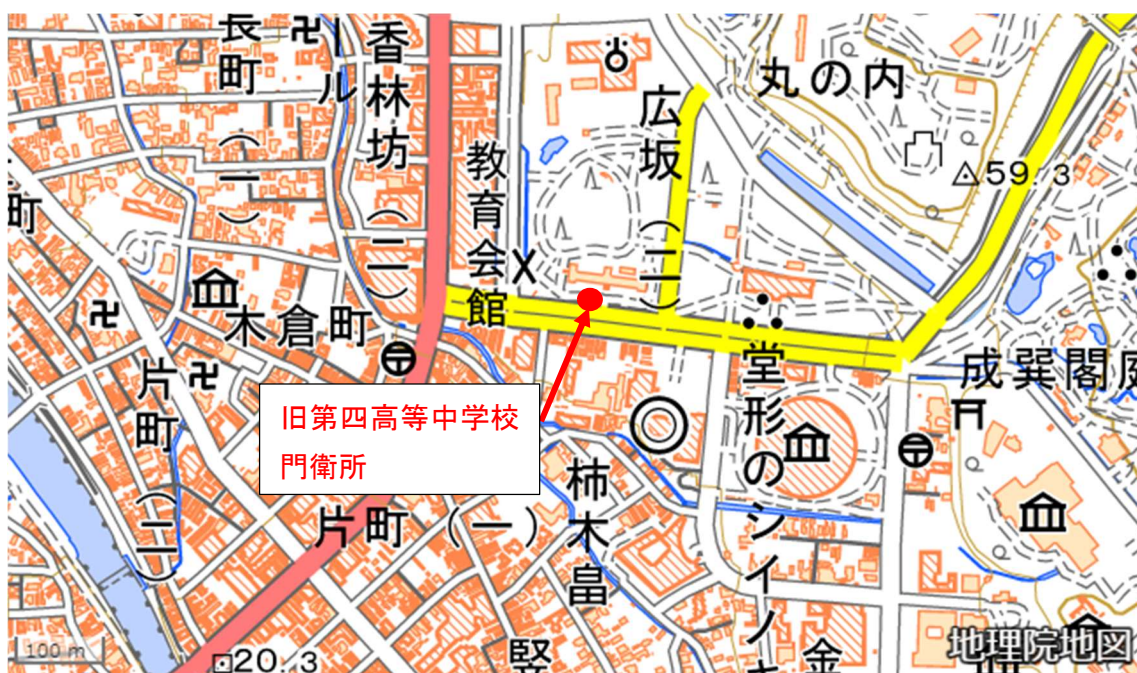


## 旧第四高等中学校門衛所

(きゅうだいしこうとうちゅうがっこうもんえいじょ)

### 概要

金沢市広坂に位置し、明治 26 年（1893）に建築された旧第四高等中学校本館の門衛所である。外壁は下見板張りとし、上下（あげさげ）窓を設けている。本館とともに地域の歴史的景観を今に伝え貴重である。



位置図





三浦家住宅／主屋・土蔵  
(みうらけじゅうたく／おもや・どぞう)

概 要

金沢市東山にある金沢箔の発展に貢献した三浦家の住宅である。主屋は三浦孫二が昭和20年（1945）に建築し、2階座敷に数寄屋意匠が、増改築された東側部分に近代数寄屋意匠が見られる。土蔵は孫二の先代で箔打ち機を発明した三浦彦太郎が大正5年（1916）頃に建築し、主屋とともに石川県の戦前戦後建築の歩みを知る上で貴重である。



位置図

